

☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会news

2012年10月25日発行 No.37

10月11日は薬害関連行事が目白押し！

☆10月23日(火) 薬害イレッサ訴訟『下書き』問題

10:00～書記官との面談 11:30～裁判傍聴

☆11月23日(金) 国民の医薬シンポジウム

10:00～16:30 場所：平和と労働センター 全労連会館ホール

☆11月24日(土) 薬害根絶フォーラム

13:00開場 13:30～17:30

場所：広島大学医学部講義室(霞キャンパス)



まだまだ薬害根絶デー！ 参加者の感想を紹介します

♪東医研グループから薬害根絶デーの報告集が届きました。

3名の参加者から詳細で、被害者に寄り添った報告がとても印象的でした。残念ながらその全てをこの紙面では紹介しきれないので1つだけ・

☆薬害被害者の「日々苦しい闘いを続けているが、今日のように皆さんと一緒に笑いあい、大きな声を出して訴えられる1日が持てることはとても勇気づけられる。」その言葉に、今日一日が意味ある一日だったと、この一日を将来の薬害根絶に繋げていければいいなと思いました。



イラスト提供「webサイト赤きんちゃんの歌・歩・道」

薬害根絶ってなに??シリーズ第4弾! 薬害エイズ事件 その4
～裁判に携わった薬剤師 小池盛明さんとの対話より～

エイズが薬害って知った時はショックだったよ。始めは週刊誌とかでそんな感染症が同性愛者に広がっているって風潮だったからさ。それで被害者よんで何かしないと、その頃高校生の彼(藤井さんの話でも登場)よんで話しを聞いたんだ。70人位きてさ、それからだよ。

薬剤師だけでなく事務とか、看護師とか、研修医も一緒に(懐かしい名前がいっぱい)。HIV訴訟から薬害を考えようって有志で箱根合宿とかして、そのこと民医連医療に書いたよ。たしか1996年のかな・現在捜索中です。

スモンは原因薬剤キノホルムが処方薬だったから、薬剤師の薬剤への関わり方がそこで大反省(大ショック)のもとで変換したよね。臨床薬学とか副作用モニター(東京DIとか)を立ち上げて活動していった。薬害は社保運動のように見られているけど、医薬の在り方、薬の問題がテーマなんだよね。多様な薬の進化に安全を守る立場で薬剤師がついて行かないと危険なんだって、真剣に取り組みないとね。

被害者の真の願いは元に戻して欲しいことなんだ。でもそんなの無理じゃない。だから本当に、こんな被害は自分たちで終わりにして欲しいと願っているんだよね。薬が関わっていることを考えると、この被害を放たらかす訳にはいかないよね。



☆大変だけど前向きに、薬の問題に向き合う気持ちを頂きました。

『薬害イレッサ訴訟の公正判決を求める要請署名』
の取り組みにご協力ください!

☆署名用紙はこちらからでもダウンロードできます☆

http://www.gaiki.net/yakugai/gef/lib/shomei_sprm.pdf

(外苑企画商事>薬害根絶>薬害イレッサ書庫 内)

